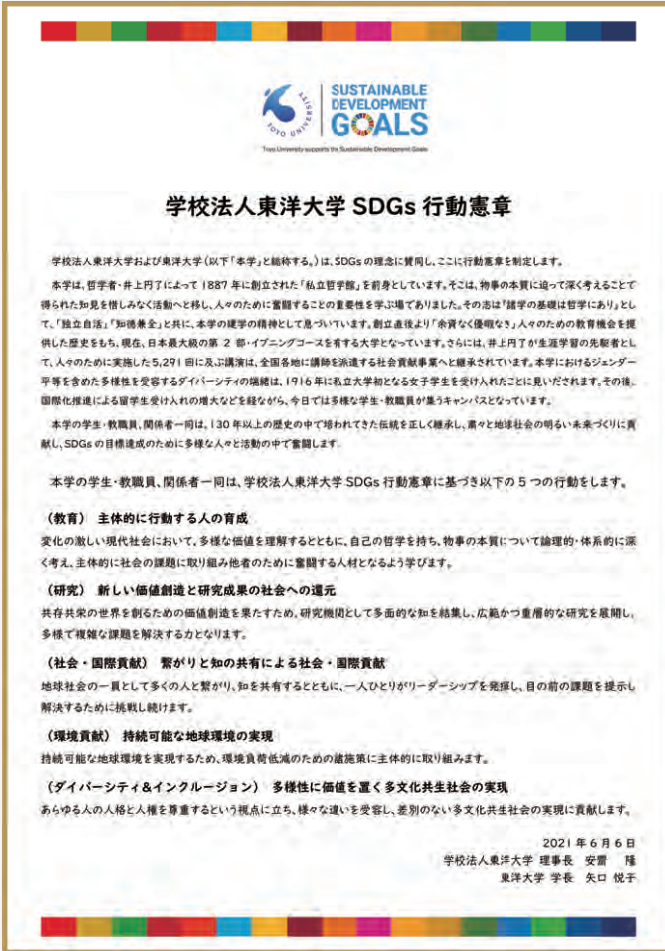


明るい未来づくりに貢献し、SDGs目標達成のために先進的な活動を— 学校法人東洋大学SDGs行動憲章



学校法人東洋大学 SDGs 行動憲章

学校法人東洋大学および東洋大学(以下「本学」と総称する)は、SDGsの理念に賛同し、ここに行動憲章を制定します。

本学は、哲学者・井上円了によって1887年に創立された「私立哲学館」を前身としています。そこは、物事の本質に迫って深く考えることで得られた知見を惜しみなく活動へと移し、人々のために奮闘することの重要性を学ぶ場でありました。その志は「哲学の基礎は哲学にあり」として、「独立自治」「知徳兼全」と共に、本学の建学の精神として息づいています。創立直後より「余資なく徳耀なき」人々のための教育機会を提供した歴史をもち、現在、日本最大級の第2部・イブニングコースを有する大学となっています。さらには、井上円了が生徒学習の先駆者として、人々のために実施した、291回に及ぶ講演は、全国各地に講師を派遣する社会貢献事業へと継承されています。本学におけるジェンダー平等を含めた多様性を受容するダイバーシティの礎は、1916年に私立大学初となる女子学生を受け入れたことに見いだされます。その後、国際化推進による留学生受け入れの増大などを経ながら、今日では多様な学生・教職員が集うキャンパスとなっています。

本学の学生・教職員、関係者一同は、130年以上の歴史の中で培われてきた伝統を正しく継承し、画々と地球社会の明るい未来づくりに貢献し、SDGsの目標達成のために多様な人々と活動の中で奮闘します。

本学の学生・教職員、関係者一同は、学校法人東洋大学 SDGs 行動憲章に基づき以下の5つの行動をします。

(教育) 主体的に行動する人の育成
変化の激しい現代社会において、多様な価値を理解するとともに、自己の哲学を持ち、物事の本質について論理的・体系的に深く考え、主体的に社会の課題に取り組み他者のために奮闘する人材となるよう学びます。

(研究) 新しい価値創造と研究成果の社会への還元
共存共栄の世界を創るための価値創造を果すため、研究機関として多面的な知を結集し、広範かつ重層的な研究を展開し、多様で複雑な課題を解決する力となります。

(社会・国際貢献) 繋がりと知の共有による社会・国際貢献
地球社会の一員として多くの人と繋がりを、知を共有するとともに、一人ひとりがリーダーシップを発揮し、目の前の課題を提示し解決するために挑戦し続けます。

(環境貢献) 持続可能な地球環境の実現
持続可能な地球環境を実現するため、環境負荷低減のための施策に主体的に取り組めます。

(ダイバーシティ&インクルージョン) 多様性に価値を置く多文化共生社会の実現
あらゆる人の人格と人権を尊重するという視点に立ち、様々な違いを受容し、差別のない多文化共生社会の実現に貢献します。

2021年6月6日
学校法人東洋大学 理事長 安齋 隆
東洋大学 学長 矢口 悦子

2021年6月6日、本学創立者・井上円了の103回忌の命日である学祖祭において、安齋隆理事長および矢口悦子学長が「学校法人東洋大学SDGs行動憲章」の制定を発表しました。



本学の学生・教職員、関係者一同は、
学校法人東洋大学SDGs行動憲章に基づき以下の
5つの行動をします。



教育

主体的に行動する人の育成



研究

新しい価値創造と研究成果の社会への還元



社会・国際貢献

繋がりと知の共有による社会・国際貢献



環境貢献

持続可能な地球環境の実現



ダイバーシティ&インクルージョン

多様性に価値を置く多文化共生社会の実現

東洋大学のSDGsへの取り組みを紹介する特設サイト

● 教員の研究 (一例)



社会とのつながりが弱い人々の存在を技術で可視化して支援につなげる
(社会学部社会福祉学科 金子光一 教授)



アフリカの少数民族に見る価値観の多様性
ジェンダー平等のために必要なこと
(国際学部国際地域学科 中村香子 准教授)

● 学生の活動 (一例)



・ワークショップで考えるSDGs
・TOYO SDGsアンバサダー募集



コンテンツ
随時拡大中

東洋大学SDGs

検索



学校法人東洋大学SDGs行動憲章制定記念シンポジウム「SDGs行動2021」を開催

この度の行動憲章の制定を記念し、オンラインシンポジウムを2021年6月19日(土)に開催しました。

本学では行動憲章を制定した本年を「SDGs行動の1年」と位置づけていることから、開催テーマも『行動』とした本シンポジウムでは、実際にSDGsを意識しながら活動している方々にご登壇いただきました。

前半は、矢口悦子学長の講演、朝日新聞社「SDGs ACTION!」編集長 高橋万見子氏の基調講演に続き、「私の行動」と題して3組(株式会社With The World代表取締役社長 五十嵐駿太氏 [本学経済学部卒業生]、本学国際共生社会研究センター 北脇秀敏センター長、学生団体 東洋大学TIPS代表 塩澤真結さん [国際学部3年生]、ナオンジュさん [国際学部4年生])が活動を報告。後半のパネルディスカッションでは、ファシリテーターを務めた社会貢献センター 森田明美センター長から本学学生を対象に実施した「SDGs認知度調査」の結果が示され、これらを踏まえ、SDGsの達成に向けてこれから一人ひとりがどのようなアクションを起こしていくべきか活発に意見交換が行われました。



シンポジウムの様子は
上記ページにて公開中です